



お、わ、ぐ 広報

大和久福祉会だより 第 161 号

障害福祉の動向

地域支援施設長 滝童内 政美

障害福祉における重点施策

は、かつての「保護中心」の時代から「自立支援」へと進み、現在は「地域で暮らす権利」の保障と「共生社会」の実現を重視する方向へと大きく広がってきました。近年の障害福祉施策においては、住み慣れた地域での生活継続や就労支援の更なる強化、社会的差別の解消、そして多様化するニーズに応じた制度の見直しなどが中心的な課題となっています。

こうした時代の動向を踏まえ、これからの障害福祉に求められるのは、単に「支える量や枠組み」を増やすことだけではありません。一人ひとりの選択を尊重する「支援の質」をより一層高め、誰もが孤立せず地域で安心して暮らし続けられる仕組みを、社会全体で維持、継続していくことが極めて重要になります。当法人としても、利用者が「その人らしく生き生きと暮らせる」支援を最優先の軸に据え、専門性の高い人材の確保とサービス向上という困難な両立に、今後も粘り強く取り組

んで参ります。

現在、全体的な傾向として障害福祉サービスの事業所数や利用者数は共に増加しており、特に地域生活を支える在宅系サービスや、社会参加を後押しする就労系サービスの整備が進んでいます。しかしその一方で、各事業所は相次ぐ制度改正への対応や、全国的な課題である深刻な人材不足の影響を受け、ここ数年、非常に厳しい経営状況に置かれています。更に、昨今の人件費の上昇や物価高騰の煽りが追い打ちをかけ、収支の悪化や人員確保の難しさに直面しているのが厳然たる現状です。

このように、近年の障害福祉分野を取り巻く環境は、かつてないほど激変しておりますが、当大和久福祉会においては、多角的な経営努力により財政の安定化を徹底して図って参ります。そして、人員配置基準を上回る手厚い体制を維持しつつ、サービスの質の更なる向上と、それを支える大切な職員の処遇改善、職場環境の充実にこれからも誠心誠意努めて参ります。

栃木県障害者卓球選手権大会



六月二十一日、とちぎ福祉プラザ若草アリーナにて栃木県障害者卓球選手権大会が開催され、当法人からは五名の利用者さんが参加しました。

大会では、午前中はブロック別の総当たりリーグ戦、午後はクラス別のトーナメント戦が行われました。オープニングセレモニーではプロ選手によるデモンストレーションが披露され、選手たちのモチベーションが高まるなかで試合が始まりました。利用者さんの練習環境はそれぞれで、暑い中でも休まず練習を重ねて大会に臨んだ方もいれば、思うように練習ができなかったという声もありましたが、本番では全員が集中して全力を尽くしていました。そんな中、午前中のリーグ戦ではホーム陽だまりの鷹猪京子さんが見事ブロック優勝を果たしました。

試合終了後、勝敗にかかわらず、全力を出し切った選手全員が充実した笑顔を見せてくれたことが深く心に残っています。選手の皆さん、本当にお疲れさまでした。

就労支援事業所いっぴ 職業指導員 小貴 貴則



創立記念を祝う会

六月六日、利用者さんや多くの保護者の皆様にご参加いただき、創立記念を祝う会を開催しました。今年は暑さを考慮し、室内での実施といたしました。事前の不安もありましたが、熱中症の心配もなく、安全で快適な環境の中で執り行うことができました。

ステージでは、利用者さんによるカラオケや職員の出し物など、多彩な演目が次々と披露されました。子どもから大人まで、歌が大好きな利用者さんが自慢の歌声を披露し、職員は部署ごとに趣向を凝らした演目を業務の合間を縫って練習に励み、本番に臨みました。当日は、衣装に身を包んだ普段とは違う職員の姿に会場は大いに盛り上がり、みんなの笑顔と笑い声が絶えない賑やかなステージとなりました。

模擬店では、いつも大人気のパン職人いっぴの販売をはじめ、うどん、カレー、唐揚げ、たこ焼きなどが並びました。当日は気温が高かったこともあり、アイスシューや冷たいジュースも大好評で、多くの方が買い物を楽しんでいました。

皆様のご協力のおかげで、心に残る素晴らしい記念の会となりました。心より感謝申し上げます。

大和久育成園ライフケアおわぐ

生活支援員 齋藤 飛鳥



ワクワク楽しい夏休み〜大和久学園

子どもたちが心待ちにしていた夏休みが始まり、みんなで楽しい時間を過ごせるよう、外出のほか、お楽しみ会や夏祭りなどのイベントを計画しました。

外出ではグループに分かれ、地域の飲食店や商店での食事、買い物を楽しみました。また、支援学校高等部生は、大和久学園を卒業した先輩を訪ねて他法人の事業所に伺いました。先輩の働く姿を見学し、更に作業体験をさせていただきました。それぞれの進路に対する意欲が高まる学びの多い外出となりました。

お楽しみ会では、みんなの大好きなかき氷が登場しました。目を輝かせる子どもたちの「おかわり」の声につられ、職員も気合を入れて一生懸命に氷を削りました。さらに、毎年恒例の学園夏祭りでは、金魚釣りゲームで大いに盛り上がった後、屋台をイメージした模擬店でおいしい食べ物を思い思いに選び、夏祭りならではの雰囲気存分に楽しみました。

大和久学園 児童指導員兼生活支援員 浅野 愛梨花



除草作業ボランティア

七月十日、那須

烏山市民生委員・児童委員十名の皆様のご厚志により、施設内の除草作業を行っていただきました。当日は薄曇りながらも非常に蒸し暑い中、背丈ほどに伸びた草を熟練の技であつという間に刈り取ってくださいました。さらに、花壇の隅々まで丁寧に除草していただき、職員だけでは手が回らない場所が、見違えるほど綺麗になりました。

毎年、ご多用の折にもかかわらず環境整備にご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

ホーム陽だまり サービス管理責任者 漆原 いずみ



普通救命講習

六月十七日、南那須地区広域行政事務組合消防本部の職員の皆様を講師にお迎えし、普通救命講習を開催しました。

職員十五名が参加し、映像と実演を交えながら、主に心肺蘇生法やAEDの使い方を学びました。講習を通じ、救急車が到着するまでの「一次救命処置」がいかに生命を救う可能性を高めるかを再確認いたしました。今後多くの職員が救命を必要とする際に迅速かつ適切な対応ができるよう、定期的に講習を開催し、利用者の皆様に安心して生活していただけるよう努めてまいります。

就労支援事業所いっぴ サービス管理責任者 手塚 祐子



栃木県障害者スポーツ大会

五月十七日、「第二十二回栃木県障害者スポーツ大会」が開催されました。

当日は五月とは思えないほどの暑い陽気となりましたが、フィールド上ではそれ以上に熱い戦いが繰り広げられ、大変な盛り上がりを見せました。

今回、私はフライングディスクの審判員として大会に参加しました。審判員は、選手と一番近い距離で接する立場です。選手たちの真剣な眼差しや、競技を終えた時の弾けるような笑顔に触れ、私自身も清々しい気持ちになりました。

大会を通じ、利用者さんの可能性を広げ、挑戦できる機会を支えることの大切さを改めて実感する一日となりました。来年もまた、選手の手皆さんが挑戦する姿を全力で応援したいと思います。



大和久学園 準児童指導員兼生活支援員 森島 由起子

収支決算報告

事業活動計算書

(自) 令和 7年4月 1日
(至) 令和 8年3月31日

単位:円

科 目	金 額
サービス活動増減の部	
サービス活動収益計	1,159,569,668
サービス活動費用計	1,129,918,314
サービス活動増減差額(1)	29,651,354
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益計	13,975,089
サービス活動外費用計	9,230,950
サービス活動外増減差額(2)	4,744,139
経常増減差額(3)=(1)+(2)	34,395,493
特別増減の部	
特別収益計	11,377,800
特別費用計	8,416,806
特別増減差額(4)	2,960,994
当期活動増減差額(5)=(3)+(4)	37,356,487
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額(6)	874,686,330
当期末繰越活動増減差額(7)=(5)+(6)	912,042,817
基本金取崩額(8)	0
その他の積立金取崩額(9)	0
その他の積立金積立額(10)	68,410,000
次期繰越活動増減差額(11)	843,632,817
(11)=(7)+(8)+(9)-(10)	

資金収支計算書

(自) 令和 7年4月 1日
(至) 令和 8年3月31日

単位:円

科 目	金 額
事業活動による収支	
事業活動収入	1,173,544,757
事業活動支出	1,078,031,938
事業活動資金収支差額(1)	95,512,819
施設整備等による収支	
施設整備等収入	8,416,800
施設整備等支出	13,940,782
施設整備等資金収支差額(2)	-5,523,982
その他の活動による収支	
その他の活動による収入	4,508,893
その他の活動による支出	78,882,770
その他の活動による資金収支差額(3)	-74,373,877
予備費(4)	0
当期資金収支差額合計(5)	15,614,960
(5)=(1)+(2)+(3)-(4)	
前期末支払資金残高(6)	227,014,028
当期末支払資金残高(5)+(6)	242,628,988

貸借対照表

令和8年3月31日現在

単位:円

資産の部	
科 目	金 額
流動資産	319,125,205
固定資産	1,755,005,852
資産の部合計	2,074,131,057
負債の部	
流動負債	98,806,217
固定負債	81,504,047
負債の部合計	180,310,264
純資産の部	
基本金	136,336,472
国庫補助金等特別積立金	418,683,863
その他の積立金	495,167,641
次期繰越活動増減差額	843,632,817
(うち当期活動増減差額)	37,356,487
純資産の部合計	1,893,820,793
負債・純資産の部合計	2,074,131,057

※減価償却費の累計額 1,204,273,625円



上記のとおり、令和7年度の
収支決算の報告を致します。



● 職員の動き ●

1
採用

- (1) 仲山里美 (R8.6. 1) ホーム陽だまり 世話人
- (2) 石井耀稀 (R8.7. 1) 大和久育成園 調理員
- (3) 佐藤政子 (R8.8. 1) サルビア 世話人

2
退職

- (1) 遠藤裕子 (R8.4.30) 職業指導員 (勤続3年5ヶ月)
- (2) 牧野浩一 (R8.6.30) 児童指導員 (勤続15年10ヶ月)
- (3) 関 繭 (R8.7.31) 生活支援員 (勤続3年3ヶ月)

表 彰

栃木県社会福祉協議会長表彰

- (1) 小野里俊子
大和久烏山寮 世話人(勤続11年1ヶ月)
- (2) 齋藤 飛鳥
大和久育成園ライフケアおわぐ 生活支援員(勤続11年)
- (3) 島田 直美
大和久育成園 事務員(勤続10年9ヶ月)
- (4) 見目 睦美
太陽の家 世話人(勤続10年)

寄贈・寄付 令和8年4月1日～令和8年7月31日

- 平野 加寿子 (那須烏山市) 金 10,000円
- 磯野 節子 (那珂川町) 金 100,000円
- 匿名 (那須烏山市) 金 5,817円
- 日光二荒山神社 (日光市) 菓子
- 安楽寺 (那須烏山市) 金 20,000円

敬称は省略させていただきます。
皆様のご厚意ありがとうございます。

寄贈・寄付
ありがとうございました

発行責任者

那須烏山市南大和久956-2
社会福祉法人 大和久福祉会
施設支援施設長 菊地裕子
後援 大和久福祉会後援会
大和久福祉会保護者会
TEL 0287-88-2041
FAX 0287-88-9696
Email oowagu2041@proof.ocn.ne.jp

おですしよのん読動ぐ多「ポ
過、い、う、秋、だ、ん、か、こ、い、食、ー
ご、体、時、を、り、と、り、し、し、し、さ
く、調、期、を、だ、り、だ、し、れ、の、の、の、て
、に、も、か、と、と、と、と、と、と、と、と
、十、あ、夏、と、と、と、と、と、と、と、と
分、意、の、の、の、の、の、の、の、の
留、し、の、の、の、の、の、の、の、の
意、の、の、の、の、の、の、の、の
し、の、の、の、の、の、の、の、の
て、の、の、の、の、の、の、の、の

編集後記